

2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

オペレーションマニュアル【フィニッシュ】

【審判用】

第 1.1 版

作 成 者	陣川 学士
作 成 日	2018 年 10 月 8 日
最終更新日	2018 年 10 月 16 日

目次

2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会	1
目次	2
体制	3
1. TO・ボランティア一覧	3
会場・コース	4
1. スタッフ配置図	4
業務詳細・留意事項	5
1. 共通事項	5
2. 業務別詳細および留意点	6
3. 救護を要する選手の対応	6
4. 制限時刻対応	6
備品一覧	6

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)

体制

1. TO・ボランティア一覧

チーフ TO / サブチーフ TO 一覧

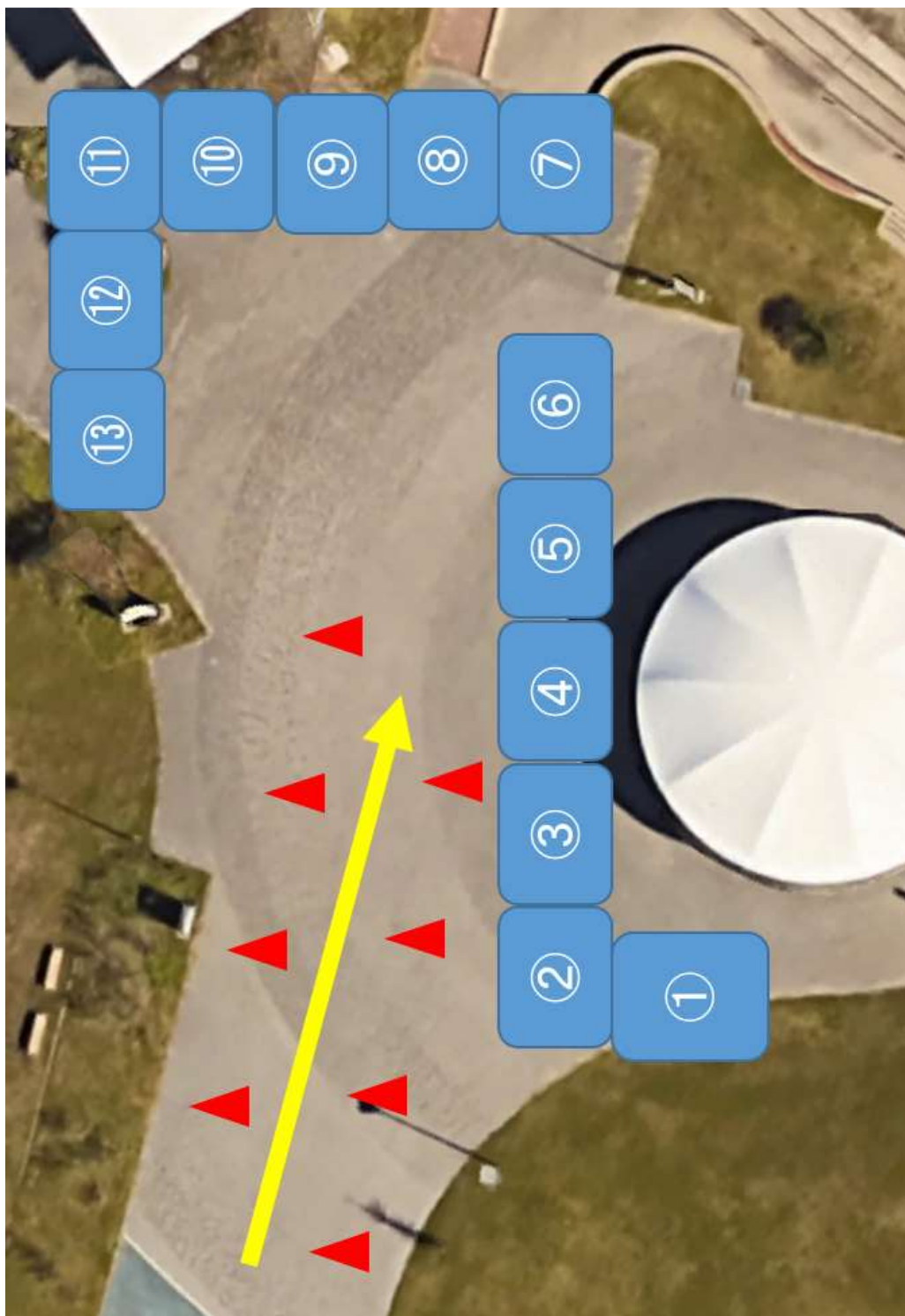
名前	役割	役割	連絡先
高柳佳恵	チーフ	統括、フィニッシュ後対応	
和泉誠一	サブチーフ	統括補佐、フィニッシュ後対応	
篠原風沙			

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 TO
		フィニッシュエリアサポート	

会場・コース

1. スタッフ配置図



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

(1) 情報連絡ルート

- ・事故、障害、トラブル等が発生した場合は、発生場所を担当するスタッフ(TO、整理員、ボランティア)は、後続の選手に影響が出ないように緊急対応する。
- ・緊急対応後速やかに、「発生場所・時間」、「けが人の状態」、「レースナンバー」、「人数」、「対処内容」等をチーフ、もしくはサブチーフに報告する。
- ・チーフ、もしくはサブチーフは、状況把握をし、大会本部へ報告する。

(2) 事故発生時対応

- ・後続選手の安全を第一に、競技が大きな支障もなく続行できることを優先して対処する。
- ・状況により速やかに第一報の連絡を、チーフに報告する。報告内容は、発生場所・時間、状況、人数、レースナンバー、対処等を簡潔におこなう。

(3) リタイア時対応

- ・本人からの申出により、再確認後、次の対応をおこなう。
- ・競技の邪魔にならないようコースの端かコース外に選手を移動させる。
- ・アンクルバンドを取り外す。
- ・レースナンバー、時間、理由等を、大会本部に連絡する。
- ・体調不良者については、メディカル担当に連絡し、適切な処置をしてもらう。

(4) ゾーン管理

フィニッシュ関連ゾーンには、競技選手(リレーチームはランパート選手)および関係者以外は立入禁止とする。

①コース内整備

- ・担当するエリアを事前に視察し、危険箇所の確認や必要機器が適切に配置されているかを確認し、競技が支障なく遂行できるようにする。

②フィニッシュゾーン入場前のアナウンス

- ・ファスナーを下げている選手の注意を行う。「ファスナーを上げてください」
 - ・サングラスをはずすよう喚起する。「サングラスを外してください」
 - ・レースナンバーは前から見える位置にするよう喚起する。「レースナンバーを前へ」
- いずれもジェスチャーと共に声掛けすると選手は分かりやすい。
- ・周回確認は選手の自己確認である。問い合わせを受けた際は規定周回を答えること。

③案内板の設置

- ・コース上の注意を喚起するために案内板を設置する。
- 「周回不足確認」「注意事項」等、選手が分かりやすい表現記述する。
- ・設置場所はフィニッシュゾーン入り口とする。

④フィニッシュ後の選手の誘導

- ・フィニッシュ後は、速やかに選手をアンクルバンド回収場所へ誘導する。アンクルバンド回収エリアでは、椅子と回収箱を用意して選手自身に取外して入れてもらうことを原則とするが、疲労し自分自身で取外しができない場合は、ボランティア要員が手助けをして速やかに取外しをする。(女性のアンクルバンドは女性スタッフが取り外す。)

⑤救急対応

- ・救急対応の必要な選手等が発生した場合は、メディカル担当または救護所と連携して対応する。
- ・救急対応が必要とする選手等は、救護テントに搬送または誘導し、適切な手当てを受けさせる。
- ・救護テントで手当てを受ける選手等について、レースナンバー、状態、時間、人数等を速やかに

大会本部に連絡する。

・冷却水を準備し、コース内及びフィニッシュ直後の選手に対応する。

⑥ 同伴フィニッシュの禁止

・フィニッシュに於いて選手以外の家族、チーム等の同伴フィニッシュは禁止とする。リレーチームについてもランパート以外の選手の同伴フィニッシュを認めない。

⑦ 前空きファスナー着用選手に対してはファスナーが下がっている選手に対して注意喚起を行う。

2. 業務別詳細および留意点

■ 各ブロック別の審判員とボランティアの配置は、「スタッフ配置図」の通りです。ブロック単位に審判員はボランティアと協力して競技に支障の出ないよう責任を持って、安全を最優先にしてコースの維持管理をしてください

業務・ポイント名	担当者	業務詳細・留意事項
フィニッシュ後対応	フィニッシュ TO で分担	
着順記録	フィニッシュ TO で分担	着順記録はフィニッシュゲートを通過した順にレースナンバーを記録用紙に記載する。

3. 救護を要する選手の対応

■ 競技運営マニュアルに準じる

■ 後続選手の安全を第一に、競技が大きな支障もなく続行できることを優先して対処する。

■ 状況により速やかに第一報の連絡を、大会本部に無線で報告する。報告は、発生場所・時間、状況、人数、レースナンバー、対処等を簡潔におこなう。無線がない場合は、チーフかサブチーフまで連絡する。

4. 制限時刻対応

■ 最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)

備品一覧

- ・コース設営が図面通りになっているかを確認し TO が競技観点での修正を行う。
- ・冷却水(体調不良選手向け。メディカルと連携)
- ・着順記載紙(レースナンバーとおおよその時間を記入する。また、カテゴリー毎に上位の選手は着順を記載する)